

平成17年度喫煙状況調査

佐賀大学医学部

【目的】医学部の職員と学生の喫煙状況や、敷地内全面禁煙に対する意見などを調査する。

【方法】職員は健診時、学生はオリエンテーション時に自記式調査票を用いて調査を実施。

【結果】

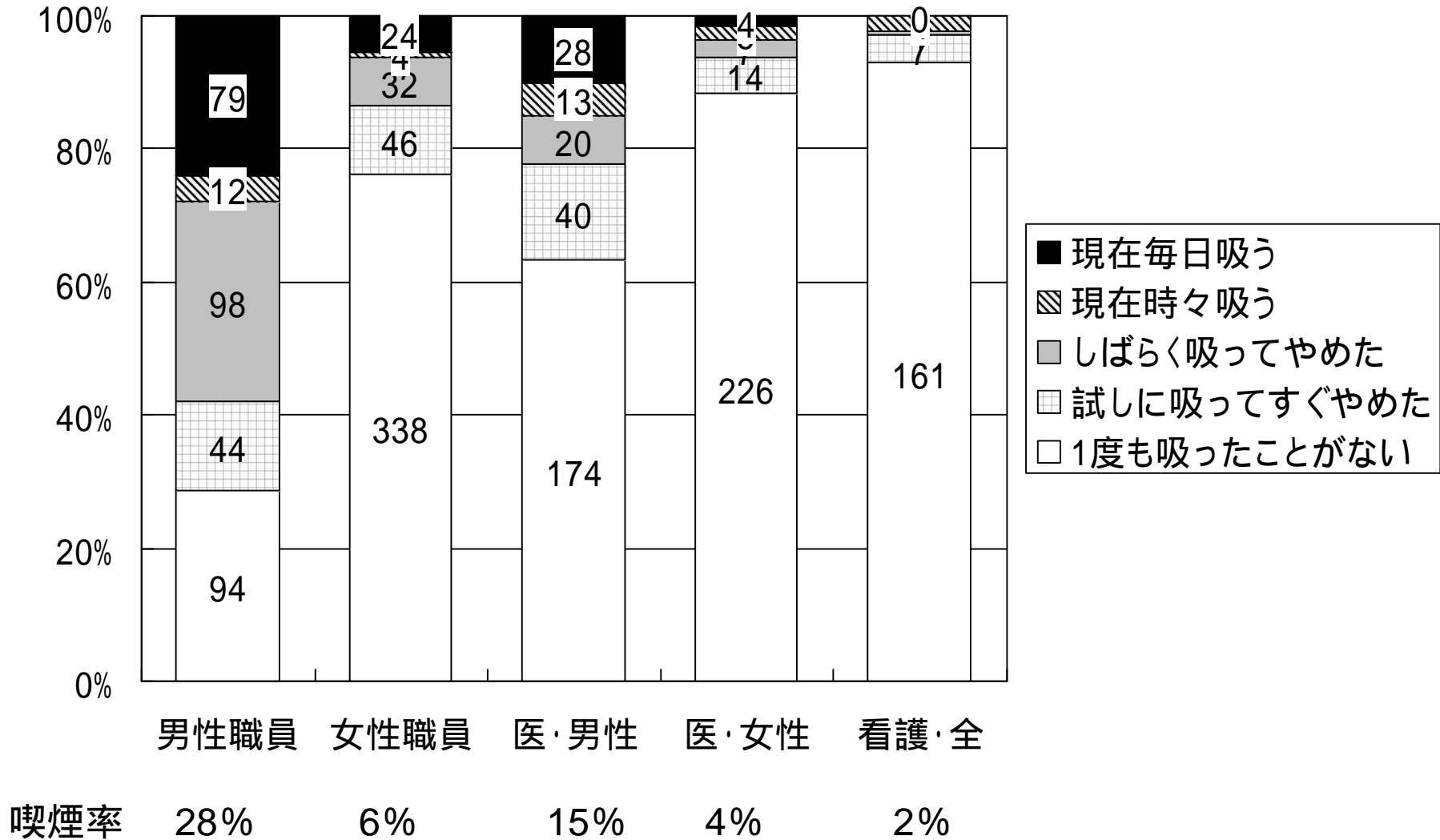
回答者(在籍者に対する率):

職員 782人(74.8%)

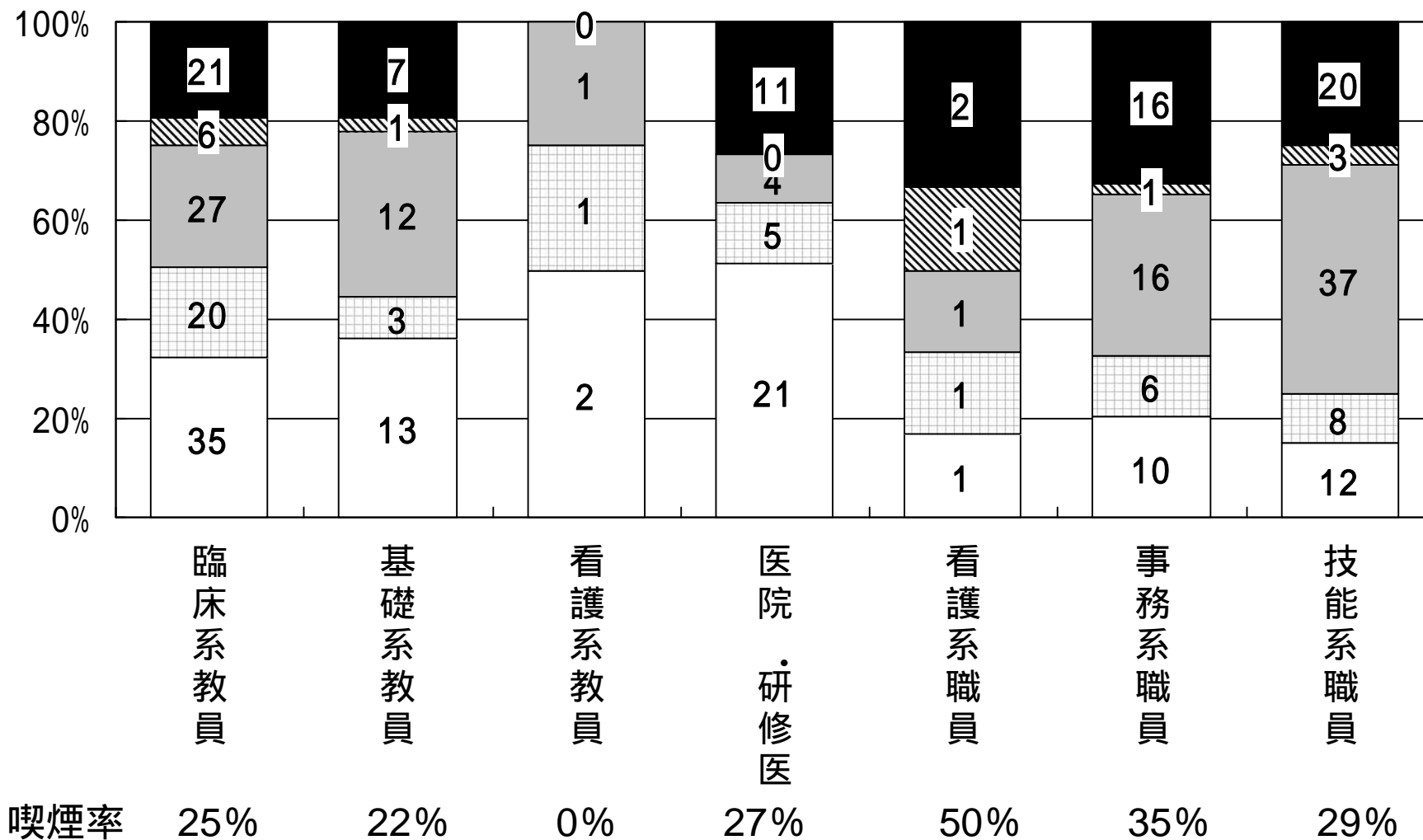
学生 医学科:531人(93.2%)

看護科:203人(76.6%)

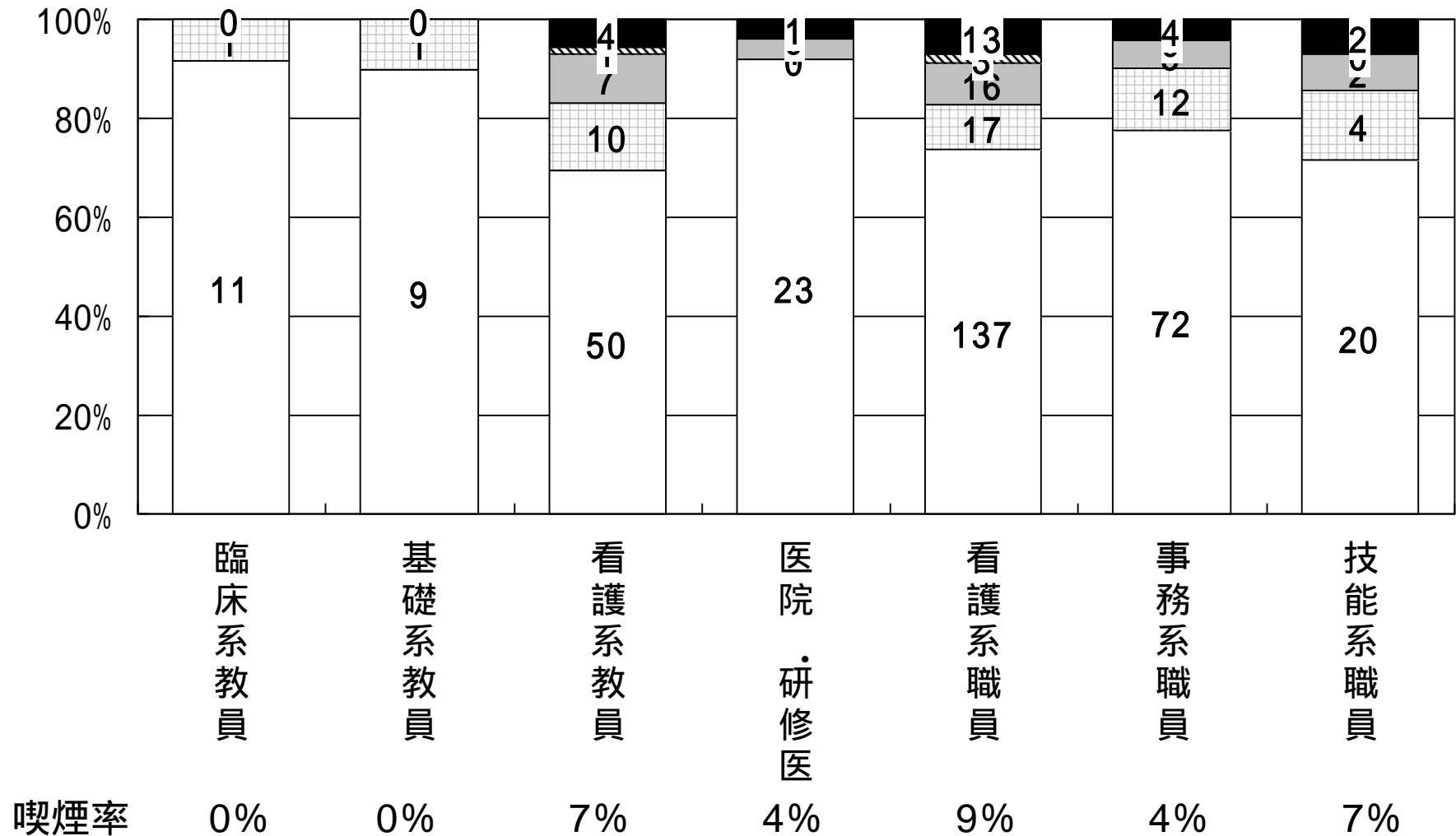
喫煙状況



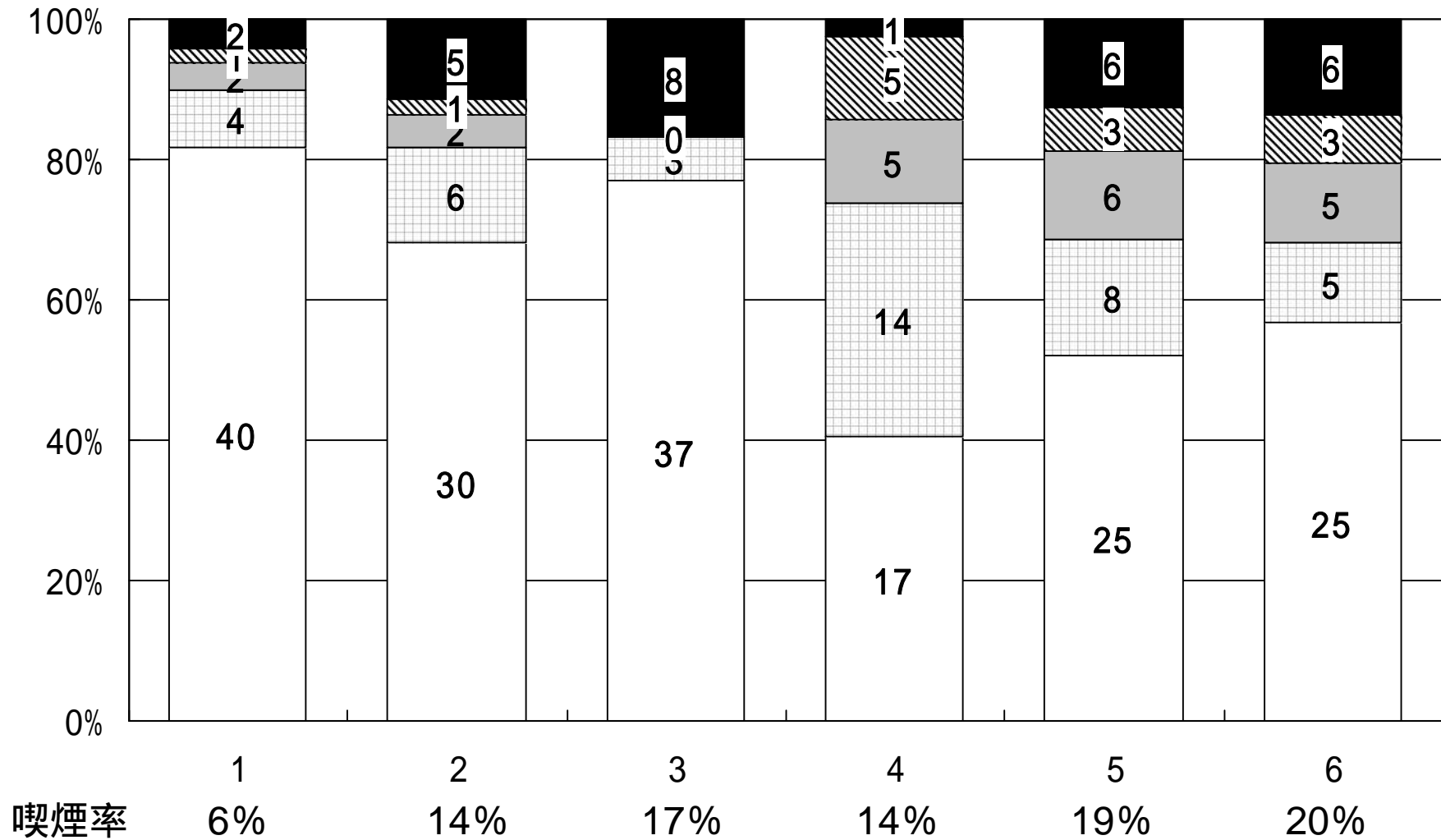
職種別喫煙狀況 男性



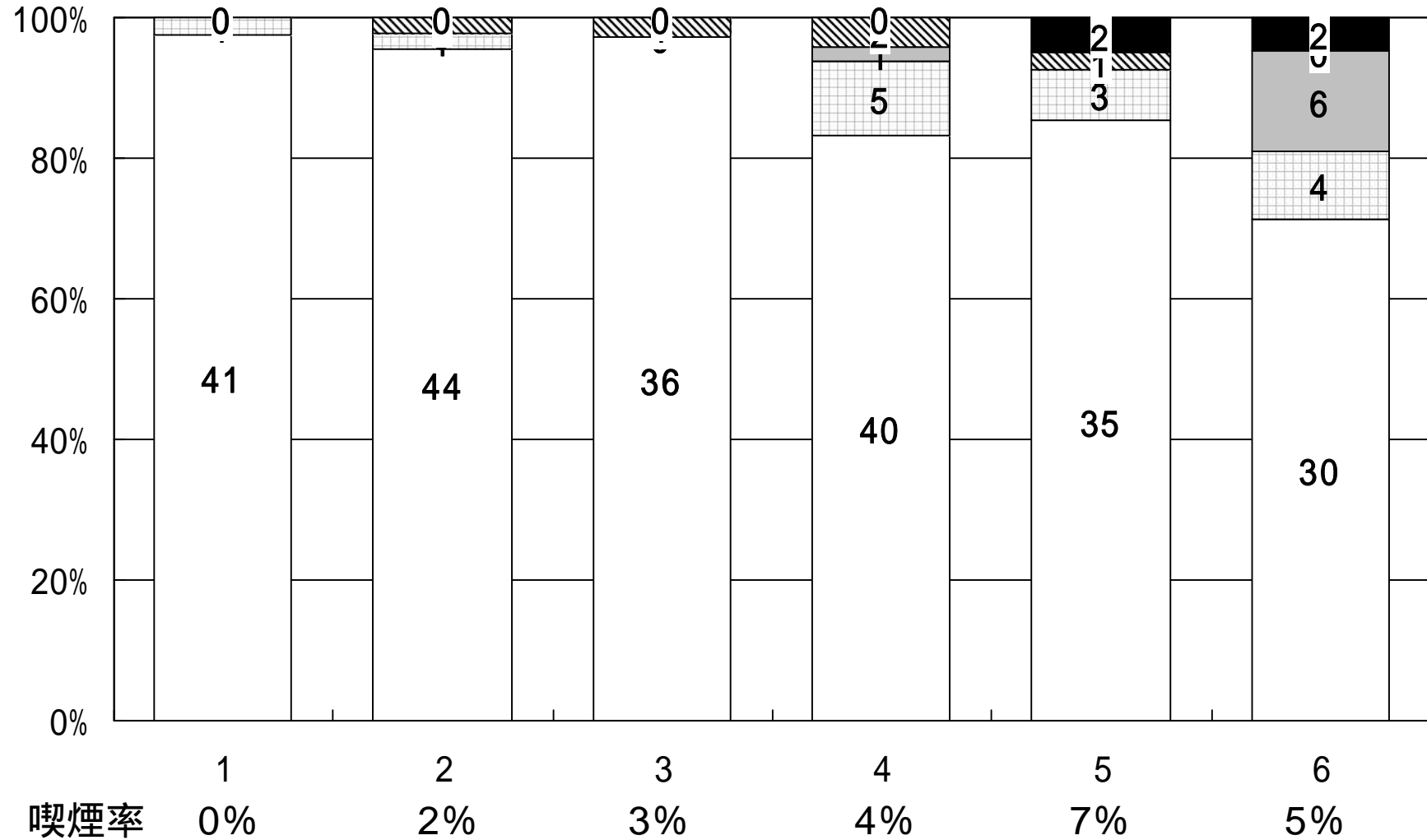
職種別喫煙狀況 女性



学年別喫煙状況 医学科男性

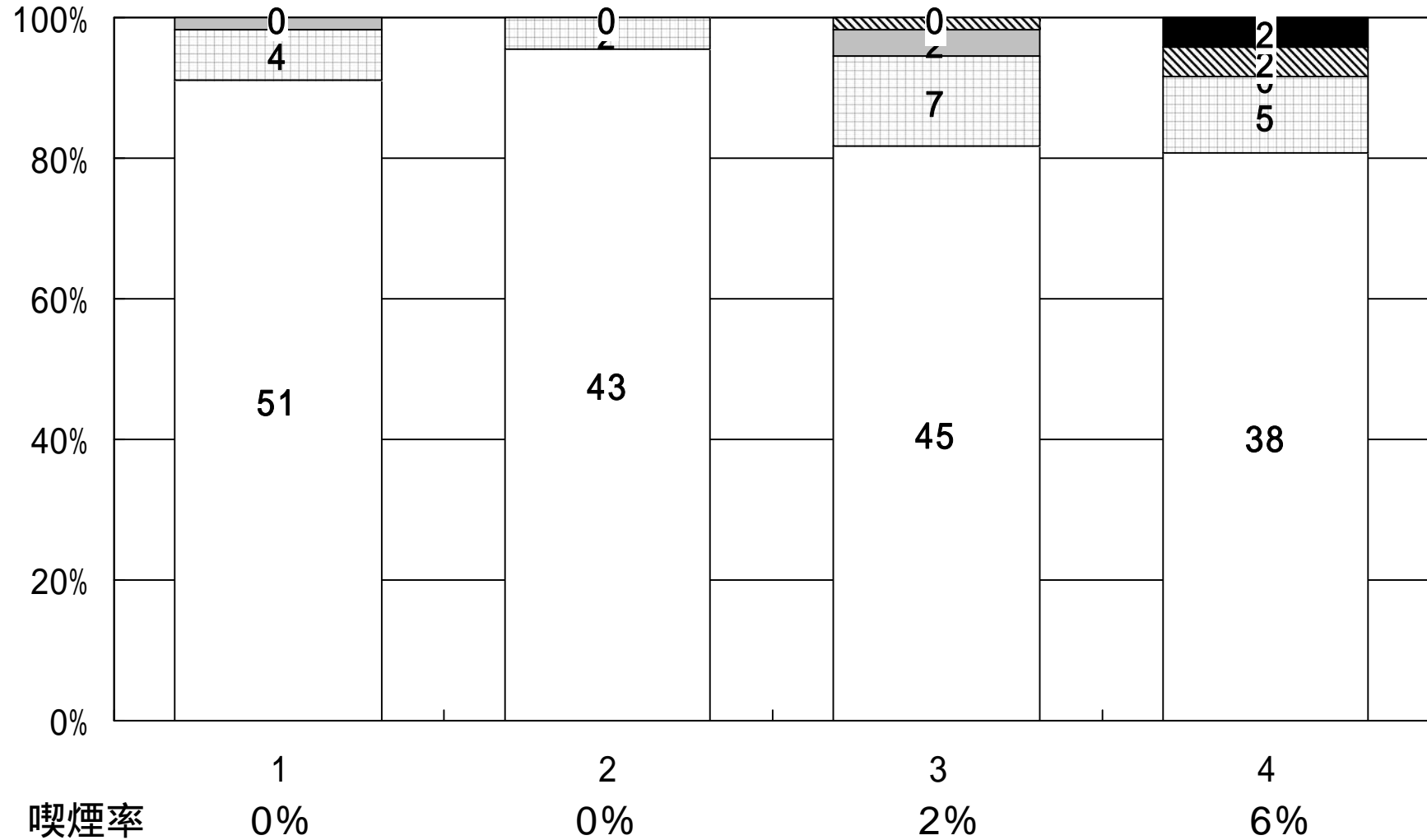


学年別喫煙状況 医学科女性

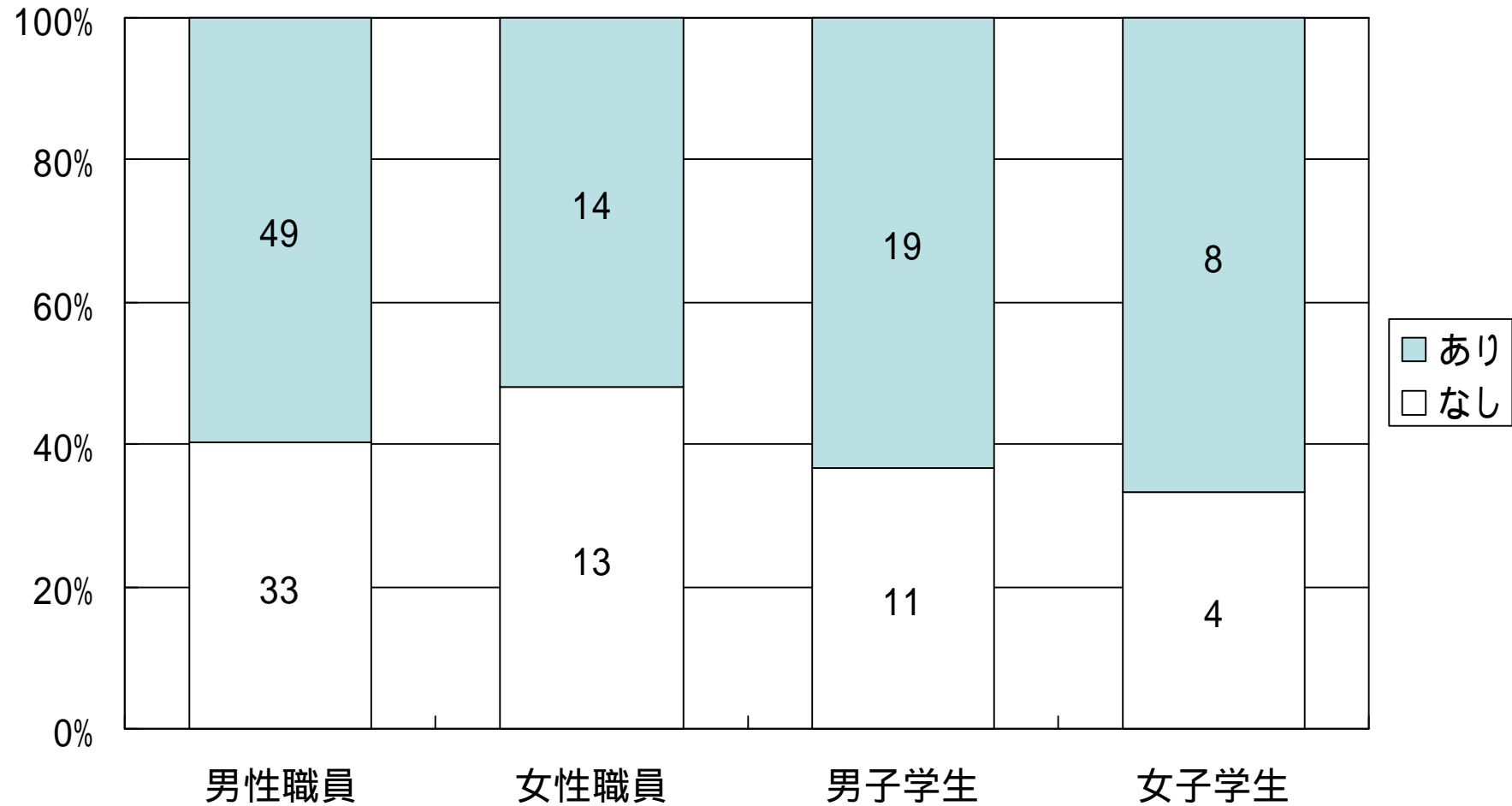


学年別喫煙状況

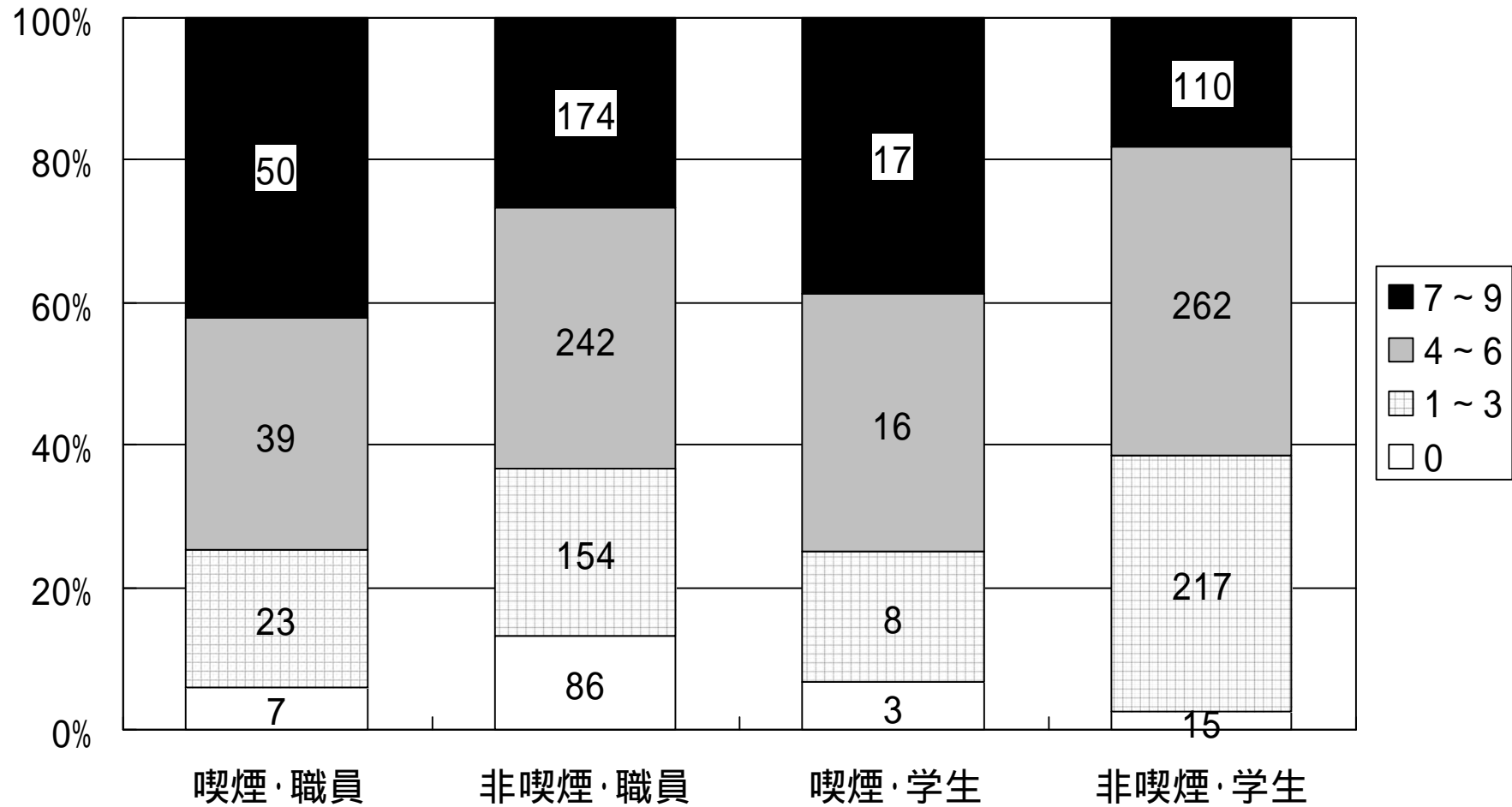
看護科全体



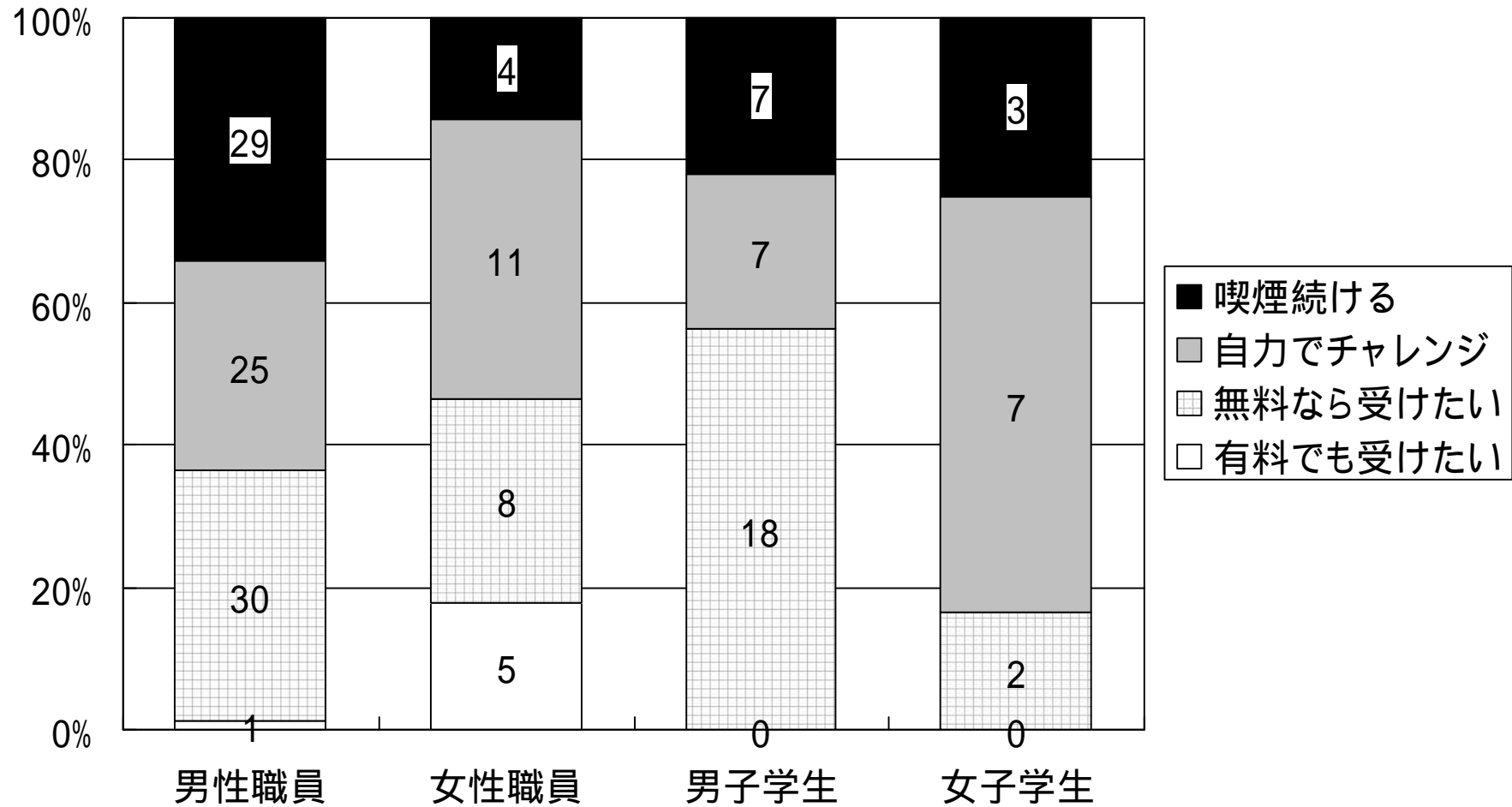
禁煙経験の有無 喫煙者



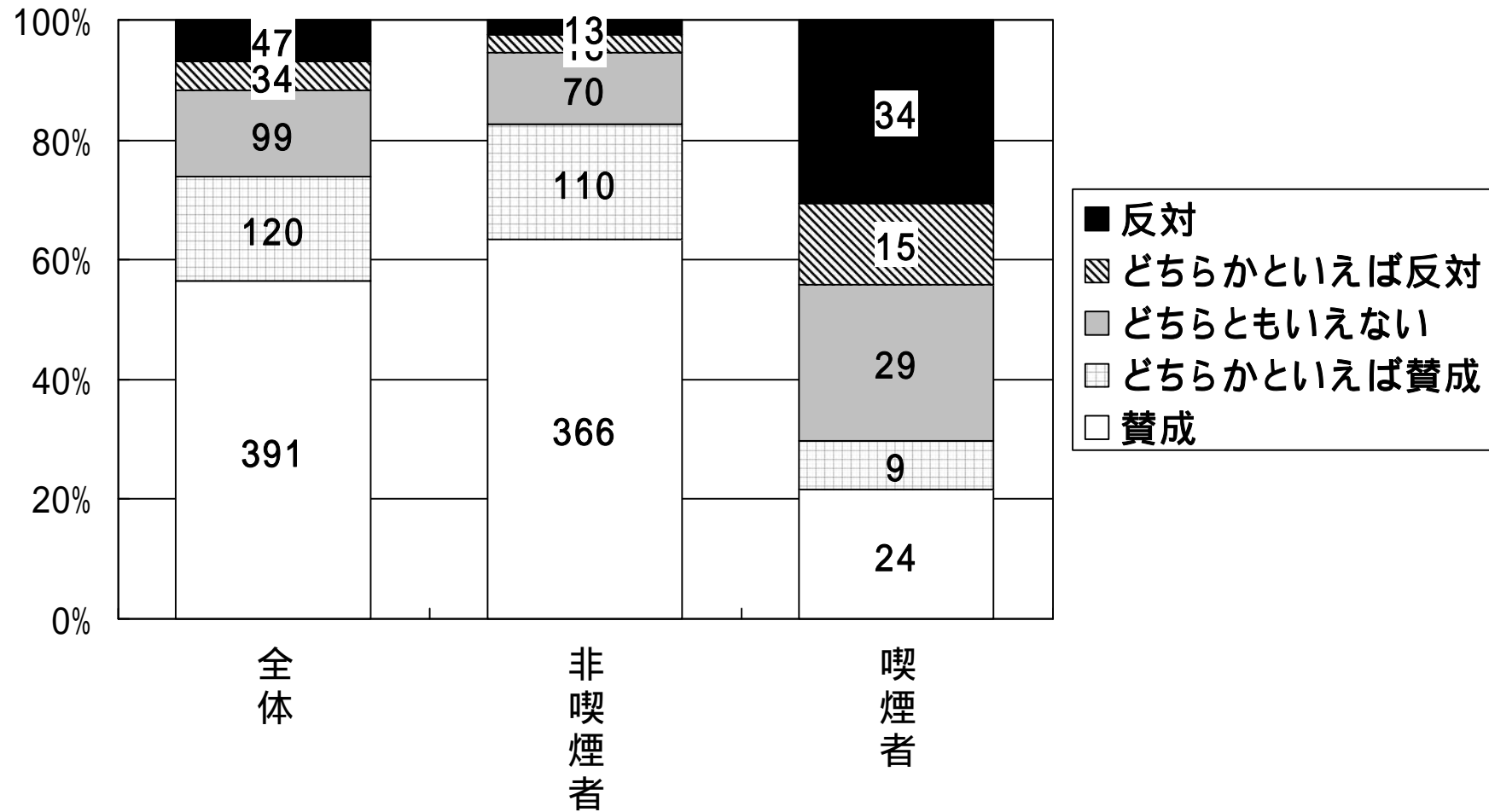
喫煙による影響の知識



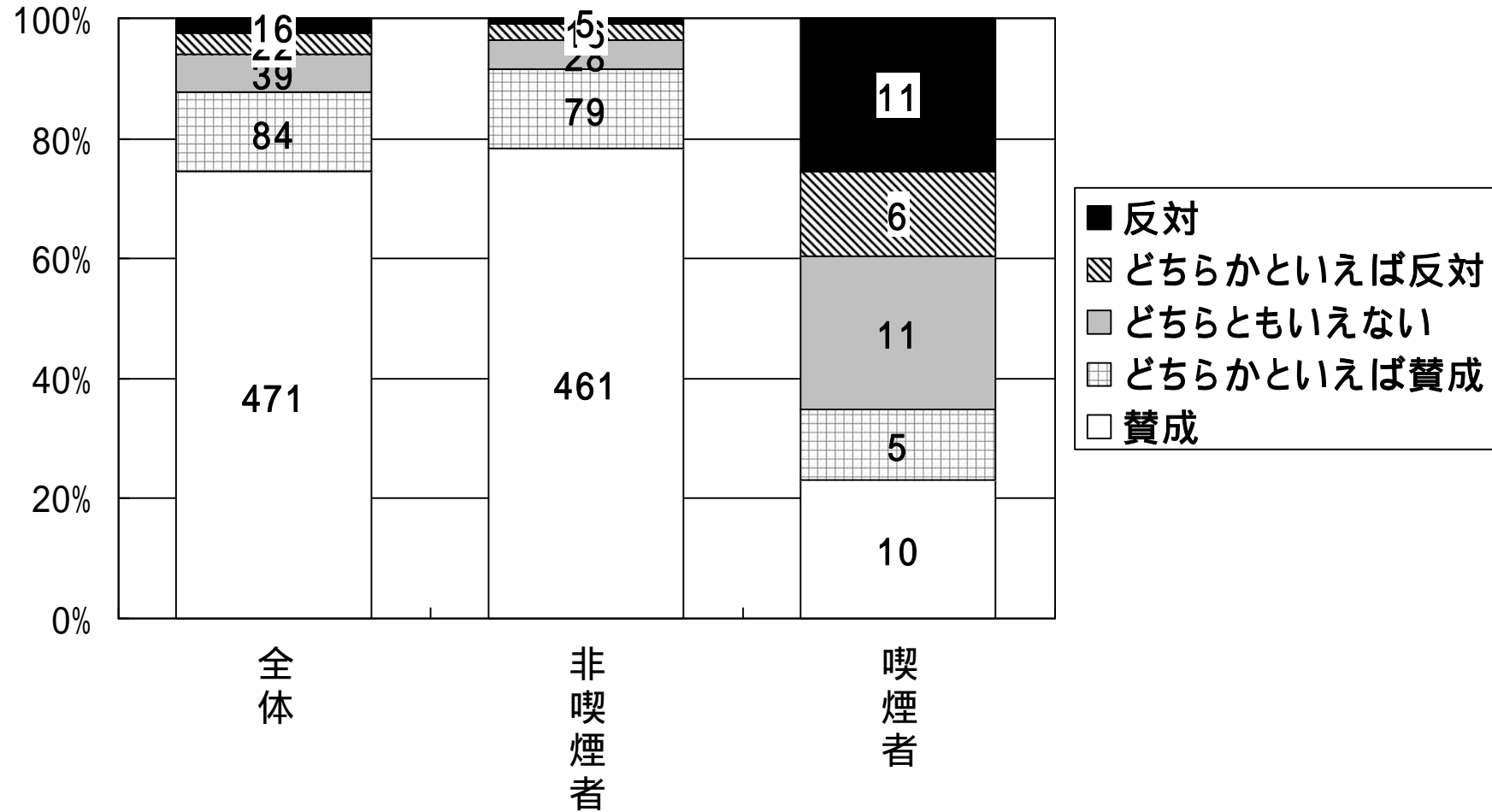
禁煙サポートの提供について 喫煙者



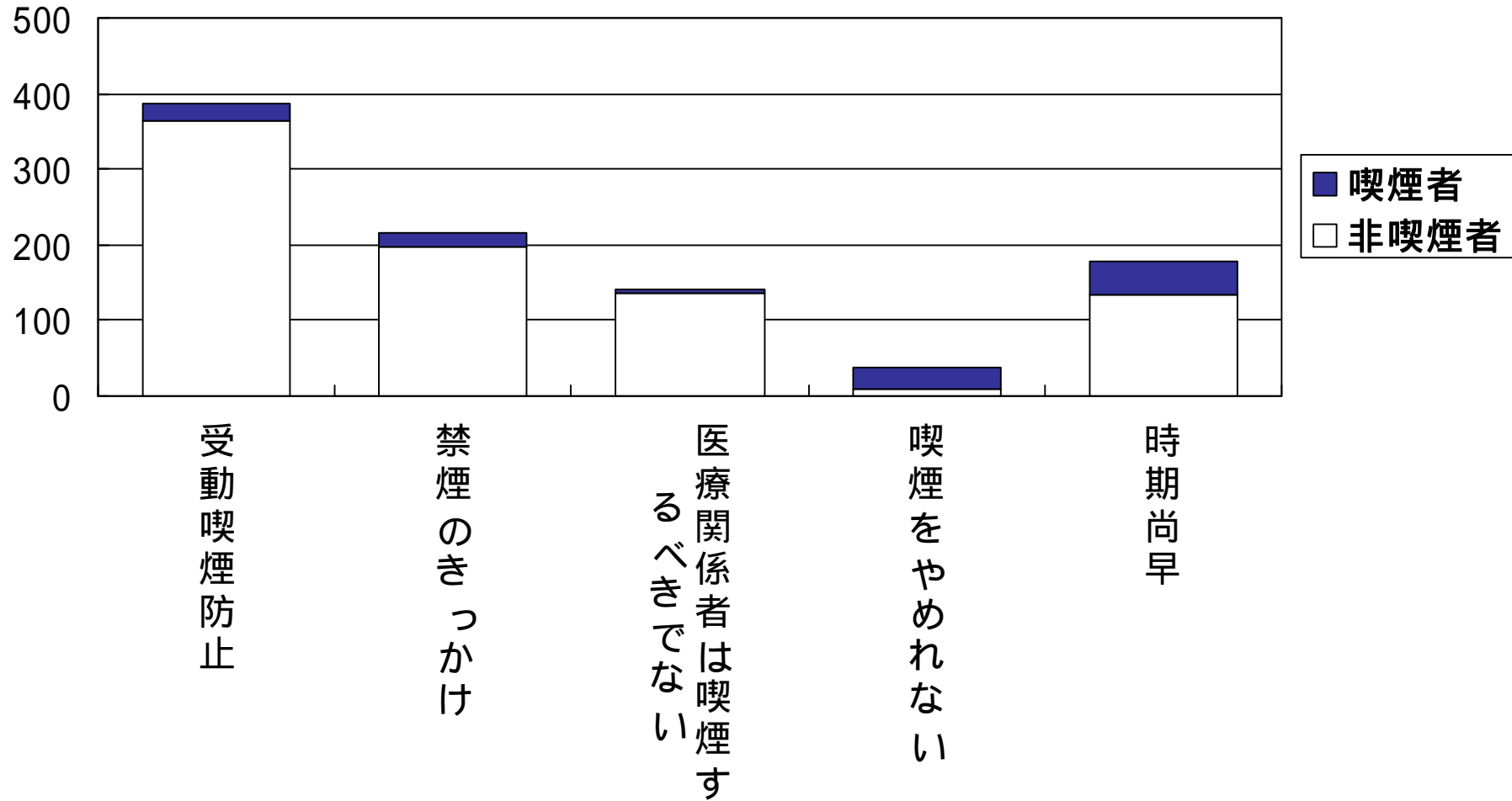
全面禁煙に対する賛否：職員



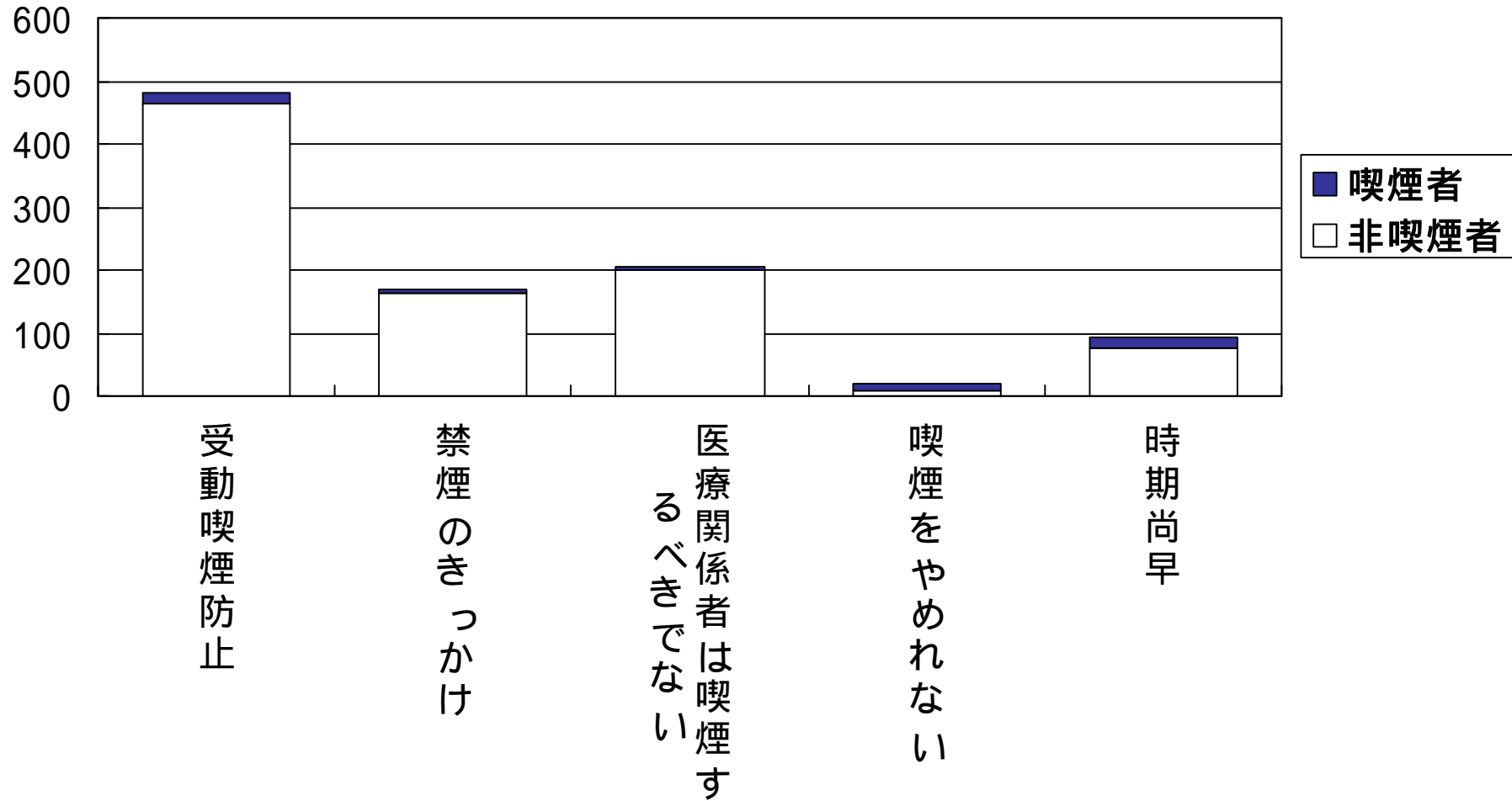
全面禁煙に対する賛否：学生



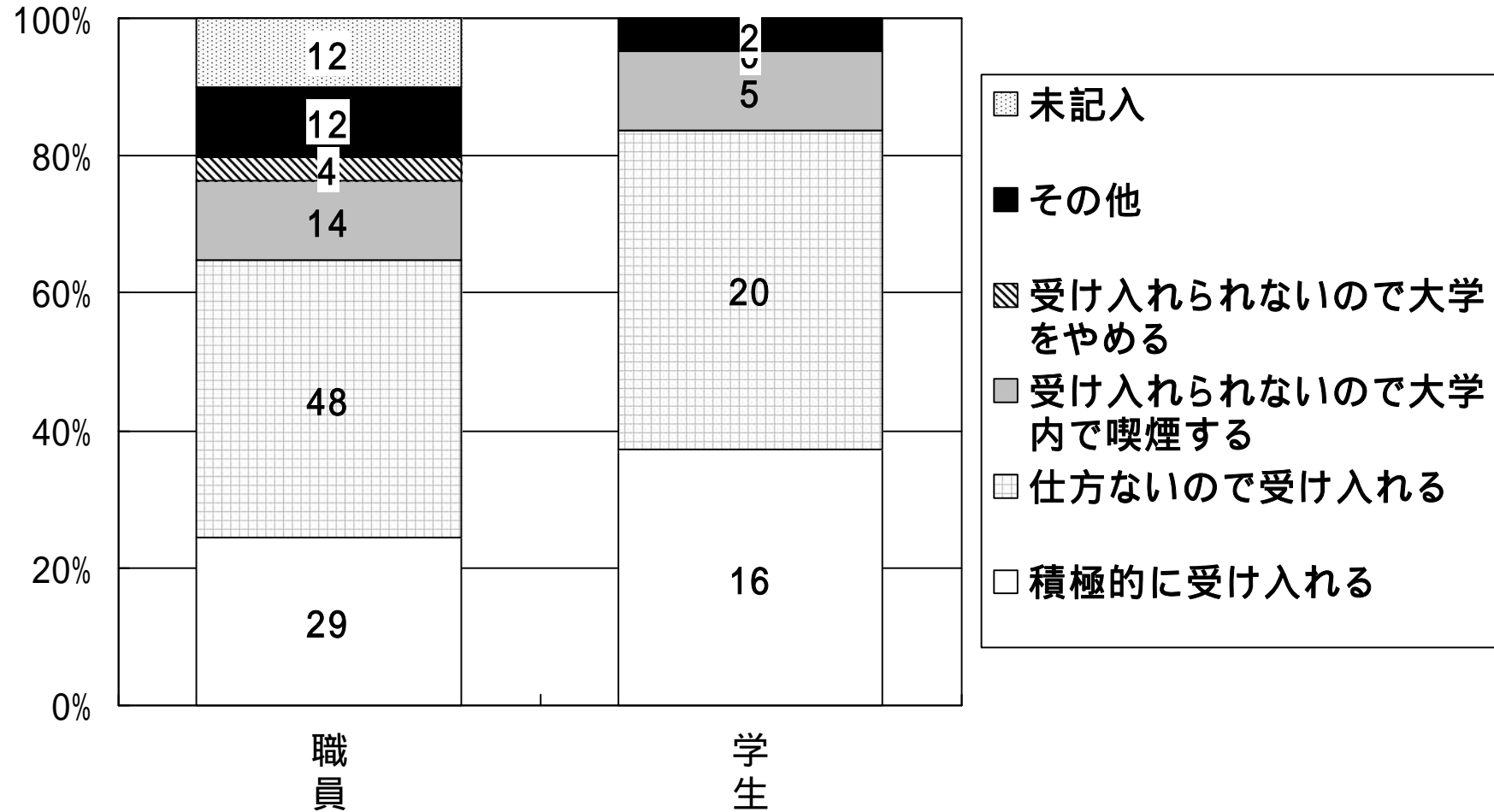
全面禁煙に対する賛否の理由 職員



全面禁煙に対する賛否の理由 学生



全面禁煙になった時の喫煙者の行動



全面禁煙に対する理由：その他 賛成者

< 学 生 >

・タバコが嫌い (臭い・喫煙者の口臭など)	12
・現在の社会情勢	2
・受動喫煙したくない	2
・メリットなし	1
・病院はタバコを吸うところ ではない	1
・非喫煙者の人権無視	1
・医療従事者をめざしている	1

< 職 員 >

・タバコが嫌い (臭い・喫煙者の口臭など)	6
・マナーの悪さ	6
・防災・火災の危険性	2
・健康のため	4
・病院はタバコを吸うところ ではない	1

全面禁煙に対する理由：その他 どちらかといえば賛成

< 学生 >

- ・喫煙者と非喫煙者の気持ち
分かる 1
- ・隠れて吸い、ポイ捨てる恐れ 1

< 職員 >

- ・喫煙できないことが患者のストレス 3
- ・喫煙者に厳しすぎる、かわいそう 3
- ・隠れて吸う人がでてる 2
- ・隠れて吸い、ポイ捨てる恐れ 1

全面禁煙に対する理由:その他 どちらともいえない

< 学生 >

- ・病院評価のためなら疑問 2
- ・隠れて吸い、ポイ捨てる恐れ 1
- ・現状維持でいい 1
- ・禁煙運動の方法に疑問 1

< 職員 >

- ・喫煙できないことが患者のストレス 3
- ・喫煙者に厳しすぎる、かわいそう 3
- ・隠れて吸う人がでてくる。 2
- ・隠れて吸い、ポイ捨てる恐れ 2
- ・自分に害なし 1
- ・完璧な分煙をする 1
- ・(喫煙者が)減少している 1

全面禁煙に対する理由：その他 どちらかといえば反対

< 学生 >

- ・個人の自由
(喫煙所で吸うなら問題なし) 3
- ・隠れて吸い、ポイ捨てる 2
- ・隠れて吸うひとがでてくる 1

< 職員 >

- ・喫煙できないことが患者の
ストレス 2
- ・隠れて吸うひとがでてくる 2
- ・隠れて吸い、ポイ捨てる 2
- ・火災の危険 1
- ・法律で規制すべき 1
- ・製造中止すべき 1

全面禁煙に対する理由：その他 反対

< 学生 >

- ・ポイ捨てする、
ごみがふえる 2
- ・個人の自由
(喫煙所で吸うなら問題なし) 2
- ・完璧な分煙をする、
全面禁煙は必要ないのでは 1
- ・自殺率を下げる 1
- ・マナー改善をするべき 1
- ・喫煙者の動向によって対応
を考える 1

< 職員 >

- ・隠れて吸い、ポイ捨てする 3
- ・隠れて吸い、
火災の危険性がある 3
- ・喫煙できないことが患者の
ストレス 1
- ・喫煙者に厳しすぎる、かわいそう 1
- ・完璧な分煙をする、
全面禁煙は必要ないのでは 1
- ・差別につながる 1
- ・屋外喫煙が受動喫煙につながる
とはいえない 1
- ・個人の自由 3